

登録コード	E7200200	開講年度	2026				
授業科目	冬季スポーツ指導法					担当教員	結城 匡啓
英文授業名	Sport Coaching Theory					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・4時限	対象学生	
講義室	教育E201	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				・子どものスポーツ指導に求められる専門的知識を理解することができる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				・子どものスポーツ指導に求められる専門的知識を理解することができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、健康長寿、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	(1) スポーツとりわけ子どものスポーツにおける指導者としての資質とは何かに気づくこと。 (2) スポーツコーチングのノウハウを身につけること。 (3) スポーツのコーチングとは何かについて考えること。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス（授業計画・自己紹介） 第2回：地域におけるスポーツクラブ活動 第3回：スポーツクラブの実際 第4回：【討論】『子どもにとってスポーツはよいものか？』 第5回：私のコーチング 『スポーツ科学者として目指した金メダル』 第6回：バイオメカニクス“的”に運動を観る『投動作のメカニズム』 第7回：バイオメカニクス“的”に運動を観る『跳躍動作のメカニズム』 第8回：バイオメカニクス“的”に運動を観る『走動作のメカニズム』 第9回：運動を観るということ 『わかるとできる』 第10回：運動を感じるということ 『自分でない選手の感覚に潜入する』 第11回：運動を教えるということ 『うまく教えるために何が必要か』 第12回：トレーニング理論 第13回：ジュニア期のトレーニング理論 第14回：【討論】『小学生に全国大会は必要か？』 第15回：「ティーチング」と「コーチング」 適宜、授業改善アンケートを実施する。 定期試験：【プレゼン】 私の（経験した）コーチング						
(6)成績評価の方法	・履修態度（50点）、課題レポートおよびプレゼン（各10点×5）により得点化し、総合的に評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	レポートの評価は、（ ）問題の設定が適切であり、（ ）その問題の背景を説明できており、（ ）その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、（ ）それらの課題に対しての既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、（ ）その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。（ ）から（ ）の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」と評価する。						
(8)事前事後学習の内容	毎時間ごとに課題を提示する。これについて、次回の授業時まで最低でもWEBなどを用いて自らが検索して調べて学習してくることが望ましい。						
(9)履修上の注意	単位を与えられるためには授業に出席するだけでなく、予習復習などの授業時間外学修を行うこと。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	電子メールで対応します。 結城：myuki@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	特に指定しません。資料を配布します。						
【参考文献】	授業の中で随時紹介します。						